

会 議 録

- 1 会 議 名 令和3年度博物館協議会
- 2 議 題 (1) 令和2年度の事業実績について(新型コロナウイルス感染拡大防止対策を含む)
(2) 令和2年度の博物館評価について
(3) 令和3年度の事業計画について
(4) 20周年記念事業について
- 3 開 催 日 時 令和3年9月8日(水) 13時30分～16時00分
- 4 開 催 場 所 Webによるオンライン形式
- 5 出席者氏名 [協議会委員] 阿部会長、岩松副会長、井上委員、緒方委員、杉山委員、染川委員、富田委員、針尾委員、三島委員、吉田委員(欠席:川津委員)
[事務局] 伊澤館長、小坪副館長、久保田普及課長、真鍋自然史課長、日比野歴史課長ほか
- 6 会 議 経 過 (発 言 内 容)
【事務局説明】
議題1「令和2年度の事業実績について(新型コロナウイルス感染拡大防止対策を含む)」について、令和2年度年報に沿って報告。

【委員意見】
 - 学校団体利用が昨年度比18%(345校)だったが、予想以上に多いように思う。
 - コロナ禍の中での特別展・企画展開催には苦労があったと推察する。
 - セカンドスクール事業はぜひ継続していただきたい。
【事務局説明】
議題2「令和2年度の博物館評価について」自己評価の説明。

【外部評価小委員会説明】

外部評価結果の報告。

【委員意見】

- 令和3年1月に出された中央教育審議会答申「『令和の日本型教育』の構築を目指して」を踏まえ、今後学校では分野横断型探求学習が導入される。博物館としても、それにどう対応していくか検討する必要がある。
- HP内にある学校団体向け「館内見学について」のワークシートなどがとても使いやすいので、もっとアピールした方が良い。
- コロナ禍のなか、市民との対話をとまなうボランティア活動は難しいが、紙芝居のYouTube配信などのオンライン用コンテンツの制作に協力いただくことも考えられる。
- 北九州ミュージアムパーク創造事業は、国の補助金を活用した規模の大きい事業であり、国などを通して、事業内容と事業を通じて体现された価値が広く他の都市・他館に周知が図られるようになっていくと思われる。自己点検や外部評価の対象とした方が良いと考える。

【事務局説明】

議題3「令和3年度の事業計画について」説明。

議題4「20周年記念事業について」説明。

【委員意見】

- 20周年に際し、これまで一度も博物館に来館したことがない市民に来館を勧める取り組みができるとうい。
- コロナ禍において、遠隔でイベント等を配信すると全国各地から参加することが可能となるので、20周年記念事業においても式典など遠隔配信を検討していただきたい。
- 開館して20年の間に博物館と関わった人達の思い出を集めるなど、博物館が人々に影響した部分を掘り起こしてはどうか。

7 問い合わせ先 市民文化スポーツ局 自然史・歴史博物館

電話番号 093-681-1011